

sample1001.c の仕様

【機能】 入力された n 個の整数を昇順に並べ替えて出力する. ただし, $1 \leq n \leq 10$.

(Functionality: sort the given n integers in ascending order; $1 \leq n \leq 10$)

【入力】 データ数 n と n 個の整数

(Input: data count(n) and data sequence(n integers))

【出力】 並べ替え前と並べ替え後の整数一覧

(Output: data sequence before and after the sorting)

【実行例】 (赤色が入力)

```
5
3 2 10 -1 19
before: 3 2 10 -1 19
after : -1 2 3 10 19
```

※上の実行例では最初の 5 が個数(n)を表し, それに続く 5 個の整数が並べ替えの対象となっている.

【関数の説明】(descriptions of the functions)

※リファクタリングでは関数名と引数名も変更しなさい.

(Note: change the function name and arguments as well)

- 関数 f1 (int a[], int b, int c)
配列 a について, 指定された範囲内 $a[b] \sim a[c]$ の中で最小値の位置(添字)を返す関数である. 例えば, $a[3]$ が(指定された範囲内での)最小値ならば, 戻り値はその位置(添字)を表す 3 となる.
(f1 returns the index of the minimum value in $a[b], a[b+1], \dots, a[c]$)
- 関数 f2 (int a[], int b)
配列 a の内容を昇順に並べ替える関数である. b はデータ数である. この関数の中では上の関数 f1 を呼び出している. ※選択ソートのアルゴリズムになっている.
(f2 sorts the values stored in $a[]$; argument b indicates the data count. Note: this function implements the “selection sort” algorithm by calling f1.)